

# I M F と開発途上国

調査研究報告書

国宗 浩三 編

2007年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所

「IMF と開発途上国」研究会

主査：国宗 浩三（開発研究センター 国際経済研究グループ長）

幹事：柏原 千英（開発研究センター 開発戦略研究グループ）

委員：小浜 裕久（静岡県立大学 国際関係学部教授）

熊倉 正修（大阪市立大学大学院 経済学研究科助教授）

樹神 昌弘（開発研究センター 国際経済研究グループ）

中川 利香（新領域研究センター 技術革新と経済成長グループ）

オブザーバー：

野上 裕生（開発研修室 専任調査役）

濱田 美紀（開発研究センター 国際経済研究グループ）

## 目 次

序 章 総論	
国宗 浩三	1
第一章 IMF の役割と改革への課題	13
柏原 千英	
第二章 IMF の政治経済学	43
小浜 裕久	
第三章 IMF の経済分析モデル	71
樹神 昌弘	
第四章 IMF プログラムの基本枠組み	
——フィナンシャル・プログラミングについて——	93
国宗 浩三	
第五章 新興市場経済諸国の国際収支危機と IMF	111
熊倉 正修	
第六章 地域金融協力とは何か？	
——世界各地域における金融協力に関する一考察——	159
中川 利香	
第七章 アジア金融協力と IMF	185
国宗 浩三	